



全国水道企業団協議会第52回総会（5月22日～23日）

福岡市の JAL リゾートシーホークホテル福岡において、全国水道企業団協議会第52回総会が開催された。

第1日目：開会式では、開催地代表の柴原福岡地区水道企業団企業長、三浦全国水道企業団協議会会長（佐久水道企業団企業長：佐久市長）の挨拶の後、来賓より祝辞があった。



柴原福岡地区水道企業団
企業長



三浦会長
(佐久水道企業団企業長：
佐久市長)



山村厚生労働省水道課長



井上総務省公営企業
経営企画室長



御園日本水道協会
専務理事

表彰式では、全国水道企業団協議会会長表彰として19名の受賞者に対し表彰状と記念品が贈られた。

続いて会議に入り、「会務報告」の承認を得たのち、「平成19年度歳入歳出決算」、「平成20年度歳入歳出予算（案）」の各議案について審議の結果、原案のとおり決定した。

その後、会員提出問題討議に入り、問題1「水道事業に対する財政支援の拡充及び補助要件の緩和について」、問題2「水道施設の再構築事業に対する新たな財政支援体制の確立について」、問題3「水道施設の震災対策事業に対する行財政支援について」、問題4「学校の

水道施設直結給水化に係る財政支援について」、問題5「公的資金の補償金免除繰上償還に係る要件緩和について」、問題6「基幹水道構造物の耐震化事業に係る繰出し基準の早期拡充について」が一括上程され、討議の結果、全ての問題を関係当局に陳情することと決定した後、関係省より意見発表があった。

次に、次期総会開催地については、北海道地区協議会の石狩東部広域水道企業団を開催地とすることが決定した。

第2日目：福岡地区水道企業団の水道施設等を視察した。



平成20年度水道技術者ブロック別研修会（札幌市：6月3日～4日、秋田市：6月5日～6日、さいたま市：6月10日～11日、金沢市：6月12日～13日、奈良市：6月17日～6月18日、松江市：6月19日～20日、鹿児島市：6月26日～27日）

水道の維持管理に万全を期することを目的に、全国の水道関係技術者約620名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質衛生管理」、特別講演「水道機械電気技術者のためのマニュアルノウハウ集」について研修を実施した。

第146回水質試験方法等調査専門委員会（6月16日）

本委員会は試験方法の検討を主に行っている。無機物部会からシアン分析におけるアンモニア態窒素が高い場合の対応方法等、有機物部会から農薬分析の前処理用ディスク型固相カラムの適用等、微生物・生物部会から従属栄養細菌の培養条件等について報告があった。



平成20年度水道事業事務研修会（労務部門）（6月18日～20日）

正会員の事務職員の方々39名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「最近の労働事例」、「地方公務員と公務員の責務」、「管理・監督者のあり方」、「地方公営企業の労使関係」、「地方公営企業職員」、「人事制度と再任用」について、主に労務の実務を中心とした研修会を実施した。

第45回 ISO 審査登録センター・判定委員会（6月20日）

株式会社マックピーアンドエス P. S. E. 事業部の第1回更新審査について審議し、品質マネジメントシステムが JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定した。



平成20年度漏水防止講座（第1回：6月23日～25日）

水道事業及び賛助会員の漏水防止に従事する技術職員の方々79名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題、これからの漏水防止」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術・漏水防止関連機器操作」について講義があり、第3日目には、漏水防止関連機器を使っての現地研修を行った。

第20回広報専門委員会（6月25日）

はじめに、議題①「正・副委員長の選出について」審議が行われ、大阪市水道局総務部総務担当課長の田端委員が委員長に再任され、札幌市水道局総務部総務課長の木内委員が副委員長に就任した。

続いて、報告事項「安全でおいしい水道水推進運動について」は、事務局より、平成18年10月の開始当初から現在までの実施報告と今年度の進捗状況について報告があった。



次に、議題②「広報マニュアルの作成について」は、中小規模水道事業体向けの手引き書として事務局が提案したマニュアルの骨子（案）に、前回の各委員の意見を反映した第2案

を提案し、了承された。

議題③「広報マニュアル執筆分担について」は、事務局から分担案を提示し、章ごとに2都市ずつの執筆分担を決定した。

JIS マーク表示制度認証授与式（6月27日）

第23回 JIS 製品認証業務判定委員会において、各申請者の初回認証判定について、適合と判定され、このうち旭有機材工業(株)及び(株)鷺宮製作所の JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



第866回会誌編集委員会（6月27日）

本誌9月号の編集方針、投稿原稿の審査並びに水道協会雑誌の編集企画について審議したのち、有効賞の選考方法について事務局から報告した。

平成20年度浄水場等設備技術実務研修会（第2回：7月1日～4日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第160回工務常設調査委員会（7月7日）

はじめに、委員長及び副委員長の選出を行い、委員長に尾崎東京都水道局技監、副委員長に高橋横浜市水道局担当理事、安藤神戸市水道局参与が就任した。

審議事項については、「実務に活かす 上水道の事故事例集 一事故防止と技術の継承に向けてー 2008」の発刊、業務委託積算要領



検討委員会（仮称）の設置について決定した。

また、平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震による水道施設等の被害状況と日本水道協会の対応、水道の安全保障に関する検討会の設置、ISO/TC224 上水道国内対策委員会の設置などについて報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

平成20年度水道事業事務研修会（経営部門、Bコース）（7月7日～11日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年以上）の方々約62名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「水道料金・演習」、「経営分析・演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会最終日にグループ別のディスカッションが行われ、活発な情報交換が行われた。

第622回抄録委員会（7月11日）

本誌10月号、11月号に掲載する外国文献の抄録内容及び9月号、10月号に掲載する海外文献目録について審議した。

第88回経営調査専門委員会（7月14日）

任期満了に伴う委員の改選後、初めての委員会開催であったことから、始めに議題①「正・副委員長の互選」を上程し、委員長には東京都水道局総務部主計課長の斉田委員が、副委員長には広島市水道局財務課長の野津山委員が選出された。次に報告事項①「水道料金制度特別調査委員会」、報告事項②「岡山市における個別需給給水契約制度」について、それぞれ事務局及び村合委員（岡山市水道局）より報告し了承された。

続いて、議題②「地下水利用専用水道に関する水道料金体系」、議題③「地下水利用専用水道に関するアンケート調査の実施」、議題④「地下水利用専用水道に関する水道料金体系検討スケジュール」について上程し、それぞれ審議の結果、議題②については、各委員から次回の委員会開催までに水道料金体系案を募ることとし、議題③については、本委員会に示された事務局案を一部修正したのち、アンケートを実施することが決定した。